

少年少女が腕を競い合う

12月20日 伊豆の国市少年柔道錬成大会を開催

長岡体育館アリーナで「モンゴル国柔道ナショナルチーム友好 伊豆の国市長杯・第5回伊豆の国市少年柔道錬成大会」を開催。市内外から参加した201人の少年少女たちが、柔道の腕を競い合いました。

今年度はコロナ禍により、モンゴル国柔道ナショナルチーム・柔道アカデミー小学生の参加はありませんでした。この日は、とても寒い1日でしたが、子どもたちの熱戦に観客は熱い視線を送っていました。



真剣なまなざしで試合に臨む選手

親子で学び、知識を深める

12月20日 市子連が食育セミナーを開催

伊豆の国市子ども会連合会は、食育セミナー「コツコツ学ぼう!! ミルクの力」を酪農王国オラッチェで開催。

このセミナーは、牛乳という身近な食材について親子で学び、その知識を日常生活に生かしていくことを目的としています。参加した子どもたちは、工場見学やいちごミルクづくり、バターづくりなどさまざまな体験を通し、牛乳ができるまでの工程や栄養など、牛乳に関する知識を深める1日となりました。



親子でいちごミルクづくり体験

絵本を読んで、明るい気持ちを

12月21日 公立保育園へ絵本の贈呈

市内在住のイラストレーターのやまだゆきえさんが作成した絵本「たいようとなないろのはな」の贈呈式が教育長室で行われました。

寄贈された絵本は、市内の公立保育園3園と中央図書館、葦山図書館で読むことができます。

寄贈にあたり、やまださんは「この絵本を読んでもらい、子どもたちに明るい気持ちになってほしい」と語りました。



教育長に絵本(写真右)を手渡すやまださん

災害時、迅速な情報共有に向けて

12月22日 東京電力パワーグリッド株式会社と協定を締結

市では、災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定を東京電力パワーグリッド株式会社と締結。この協定により、大規模地震などの災害時に、電力の早期復旧や住民への停電情報周知のために迅速な情報共有ができるよう、伊豆の国市と東京電力パワーグリッド株式会社の協力関係が構築されました。

松丸茂幸伊豆支社長は、「この協定を契機に、協力関係を今まで以上に強めていきたい」と語りました。

災害時における停電復旧の連携等に関する基本協定 締結式



協定書を手に記念撮影

安全で安心なまちづくりへ

12月4日 第一生命保険株式会社と協定を締結

市では、高齢者や障がい者、子どもらへの見守りを行い、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、安全安心見守りネットワーク事業への協力に関し、第一生命保険株式会社沼津支社と協定を締結。

高齢者や子どもの異変に気付いた際に、営業員が市へ素早く通報することが可能になりました。締結式で、横溝有美子沼津支社長は、「安全で安心なまちづくり実現に向けて協力していきたい」と語りました。



協定書を手に記念撮影

練習の成果を本番で発揮しました

12月5日 しずおか市町対抗駅伝が開催

県内35の市町から37チームが参加し、「第21回しずおか市町対抗駅伝」が静岡市で開催されました。今年は昨年に引き続き、12区間42.195kmのコースで市町の代表選手たちが力走しました。

伊豆の国市は市の部20位と順位、タイムとも昨年を大幅に上回る結果となりました。大会終了後、代表選手たちは力強くも晴れやかな笑顔を見せていました。



代表選手の皆さん

地域とともに「チームにらっこ」発足

12月11日 葦山小学校地域学校協働本部が発足

「地域とともにある学校づくり」「地域の子は地域で育てる」を合言葉に、市内小学校で地域学校協働本部の設立が進んでいます。

12月11日には教職員、PTAなどの学校関係者や区長、民生委員などの地域関係者が集まって葦山小学校地域学校協働本部「チームにらっこ」が発足。グループ討議では「どんな子に育ててほしい?」をテーマにKJ法のラベルワークで意見交換しました。



参加者同士でグループ討議

おいしいイチゴが待っています

12月14日 江間いちご狩りセンター開園式が開催

江間いちご狩り組合が運営する「江間いちご狩りセンター」のオープンに先駆け、関係者ら出席のもと開園式を開催。開園式では、安全祈願と商売繁盛の神事などが行われました。

また、伊豆長岡いちご狩りセンターは1月2日にオープン。5月6日までいちご狩りを楽しむことができます。(新型コロナウイルスの影響により閉園の場合あり。詳しくは、HPをご覧ください。)



開園式の様子